



稚内市

概要

稚内市は、公共交通のほとんどを路線バスに依存している地域であるが、平成元年にJR天北線から転換された天北線バスについても利用は低迷しており、効率的な運行や交通空白地域の解消が課題となっている。このため、市内の天北線バスについて、現行路線のコミュニティバスへの転換や、宗谷岬廻りルートへの路線変更による交通空白地域の解消等の調査検討を実施する。

地域公共交通の現況

- ・JR宗谷本線(稚内駅、南稚内駅、抜海駅、勇知駅)
- ・(株)宗谷バス(市内8路線、郊外7路線、天北6路線)
- ・スクールバス(7本:4校)
- ・猿払村営バス(東浦地区)
- ・稚内空港

地域公共交通の課題

- ・天北線バス(旧JR天北線の代替)の利用が低迷
- ・東浦地域の高齢者の交通手段がない
- ・宗谷岬から猿払村方面へ向かう観光客の交通手段がない
- ・ノシャップ岬等の観光地へのアクセスが不便

調査の主な内容

- ・現況交通実態調査
- ・利用者ニーズ把握調査(アンケート調査)
- ・天北線沿線地域におけるコミュニティバスの試験運行

策定する地域公共交通総合連携計画の構想(予定)

- ・天北線バスの宗谷岬廻りルートへの路線変更の検討
- ・現行の天北線バスのコミュニティバスへ転換の検討
- ・ノシャップ岬、北防波堤ドーム、抜海岬、宗谷丘陵等の観光地へのアクセス改善の検討
- ・ニューズレター発行等の公共交通利用促進策の検討



国土地理院発行20万分の1地勢図より

稚内市地域公共交通活性化協議会 調査事業の取組状況

主な調査の実施内容

協議会開催状況

3回開催

分科会等開催状況

-

左記開催状況は
H21.1.30現在

現況交通実態調査

・市内バス路線5路線65便の乗降調査(H20.10.18・20、2日間)及び天北線6便の利用実態ヒアリング(H20.10.20~22)を実施。

利用者ニーズ把握調査(アンケート調査)

・市内の20町内会(1,118世帯、約2,800人)を対象に、住民アンケートを実施。(H20.11月)

天北線沿線地域におけるコミュニティバスの試験運行

・天北線沿線地域での新たな交通システム構築のため、天北地区及び恵北・増幌地区において乗合タクシー試験運行を実施。

(天北:H20.11.25~28、4日間、利用延33人、恵北・増幌:H20.12.1~3、3日間、利用延8人、各地区1日8便、天北線バスと連結)

・上記試験運行にあたり地域説明会を開催し、路線バスの現状と今後の課題及び試験運行について説明。

(天北地区:H20.11.19・参加約30人、恵北・幌増地区:H20.11.22・参加約20人、曲淵地区:H20.11.23・参加約35人)

予定している連携計画の内容

天北線バスの宗谷岬廻りルートへの路線変更(実施主体:宗谷バス(株)、実施時期:H22実施を目処に検討)

・現路線沿線の住民理解と輸送の確保を前提に、H22の路線変更を目指す。

天北線地域における乗合タクシーの導入(実施主体:稚内市・タクシー事業者・天北地区町内会、実施時期:H21~22)

・天北地域の2地区において、拠点バス停留所への有償による乗合タクシーの実証運行を実施。

・高齢者を中心に、スクールバス一般混乗による実証運行を検討。

フェリーターミナルへのシャトルバスの運行(実施主体:宗谷バス(株)による自主運行、実施時期:H22実施を目処に検討)

・利尻・礼文フェリーターミナルと中心市街地を結ぶシャトルバスの運行を検討。

自己評価のポイント

乗降調査、ヒアリング調査、アンケート調査、乗合タクシーの試験運行等により必要な調査を行うとともに、法定協議会において合意形成を図っている。

二次評価のポイント

一部の事業についてはさらに検討の具体化を進めるようアドバイスする。